別紙

令和４年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

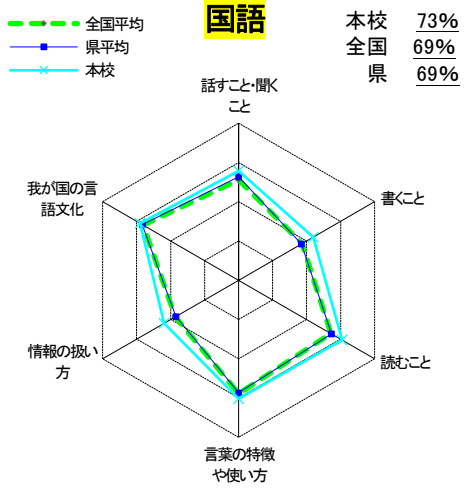
呉市立白岳中学校
（白岳中学校区）

全国平均値との差

	国語	数学	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	＋５．０	＋５．０	
令和８年度	－	－	－
令和７年度	－	－	－
令和６年度	－	－	－
令和５年度	－	－	－
令和４年度	＋４．０	＋６．０	＋４．７

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組　　◎･･･各学校　◇･･･中学校区

国語



本校　73%
全国　69%
県　69%

重点課題

◎「行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する」（正答率が 39.1%）

◇自分の考えが伝わる文章になるように，根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことに課題がある。

改善の方策

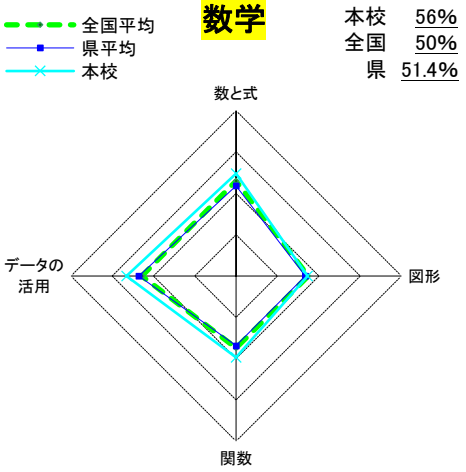
◎行書の特徴である点画の丸み，点画の方向や払いの形の変化，連続や省略，筆順の変化について，理論と実践を並行させて理解を深めさせる。

◇国語科の学習で身につけた資質・能力を，各教科の学習や生活の様々な場面で，積極的に生かす態度を育成する取組みを，継続しておこなう。

検証

◎◇三年生に対して，全国学力調査の類題を二学期末に実施する。
（目標値：50%→69%）

数学



本校　56%
全国　50%
県　51.4%

重点課題

◎筋道を立てて考え，事柄が成り立つ理由を説明することができる。

◇事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能に課題がある。

改善の方策

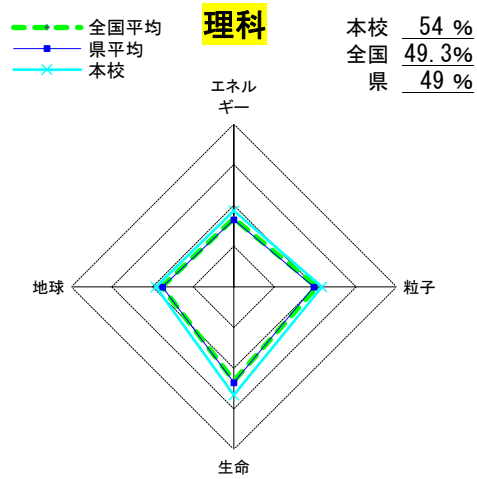
◎事柄が成り立つ理由を，図や数式を用いて説明する活動を積極的に取り入れる。

◇事象から性質をみつけ，それらを確かめ，説明する学習活動を行う。

検証

◎◇三年生に対して，全国学力調査の類題を二学期末に実施する。
（目標値：30%→41.5%）

理科



本校　54 %
全国　49.3%
県　49 %

重点課題

◎課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身についている。

◇科学的な見方・考え方で，既習事項と身近な事象を関連づけて，新たな事象について推論することに課題がある。

改善の方策

◎課題を明確にし，課題を解決するための手段として，グラフを用いて考えることを見いださせる活動を，積極的に取り入れる。
課題またはグラフに基づいた考察を行う場面を設ける。

◇身近な事象を多く取り入れた授業を行う。
身近な事象を用いた課題を設定し，課題解決学習を行う。

検証

◎◇三年生に対して，全国学力調査の類題を二学期末に実施する。
（目標値：50%→50%）

【来年度に向けて】
　各教科の課題を全教科で共有することで学校全体の課題として捉え，その改善に向けての方策を全教科で練り，それぞれで実施する。また，指導内容・方法について，短期の検証・改善を繰り返す。